

子どもたちの力作並ぶ

11月9日10日 子ども作品展を開催

子どもたちの工作や書道などの作品を展示する『子ども作品展』を、あやめ会館、葦山小体育館、大仁小体育館で2日間にわたり開催しました。

それぞれの会場では各地区の幼稚園・保育園、小学校、中学校の子どもたちの力作が所狭しと並べられ、日ごろの活動成果を一目見ようと多くの保護者らが足を運びました。

▶大仁地区の展示会場（大仁小体育館）



市の行っているサービスを評価

11月9日～17日 事業評価委員会を実施

市民サービスの向上と開かれた市政の推進を目的に、伊豆の国市初となる事業評価委員会を大仁庁舎で行いました。

現在行っているサービス（事業）の必要性や実施方法について、市民や有識者などの第三者に評価してもらいました。9日、10日、16日、17日の4日間で16の事業を評価。それぞれのサービスに「継続」「要改善」「廃止」などの提言がされました。※今回の委員会の結果は次号に掲載します。



参加し、体験し、防災を学ぶ

11月10日 消防フェスタ2013を開催

この時期恒例となる『消防フェスタ2013』を、葦山時代劇場ひだまり広場を会場に開催しました。

小雨のぱらつくあいにくの天候にもかかわらず、園児たちを中心に多くの来場者でにぎわいました。会場では、女性消防隊による寸劇や救急救命、分団によるポンプ車乗車体験、消火体験などが行われ、参加者は体験しながら防災の知識を学んでいました。

▶女性消防隊による救急救命対応の実演



4,000本の竹、幻想的な世界を演出

11月16日17日 竹灯籠祭りを開催

今年で5回目となる葦山竹灯籠祭りを『江川邸』で開催し、約4,000本の竹灯籠が幻想的な世界を演出しました。初日は風もない穏やかな天候に恵まれたこともあり、2,200を超える人が来場。富士山の形に並べられた灯籠や中庭の池に浮かぶ灯籠に、訪れた人たちは感嘆の声を上げていました。

同祭りは市の放置竹林対策事業の一環として、葦山金谷の里夢くらぶらの協力により行っています。



地域福祉の普及を目指して

10月19日 市民ふれあい広場が開催

地域の福祉の啓発を目的に『第9回市民ふれあい広場』が葦山福祉保健センターで開催され、多くの来場者でにぎわいました。

会場では、市内のボランティア・福祉団体による日ごろの活動の紹介や、ステージでの活動発表などが行われました。また、『いずのくに健康マイレージ』のオープニングセレモニーも開かれ、小野市長らによる『健康マイレージ開始宣言』も行われました。

夢はあきらめない気持ちが必要

10月24日 『夢の教室』で有森裕子氏が先生に

子どもたちに夢の大切さを伝える『夢の教室』が長岡北小学校5年生を対象に行われました。バルセロナ五輪で銀メダル、アトランタ五輪で銅メダルを獲得した有森裕子さんが先生を務め、子どもたちに『夢をあきらめない気持ち』の大切さなどを伝えました。

同教室は、日本サッカー協会が全国の自治体と連携し、サッカー選手を含めたさまざまなアスリートを『夢先生』として小学校に派遣しています。



行ってみたいな〇〇まつりを創作

10月27日 子ども会で貼り絵大会を開催

市子ども会連合会主催の『みんなで遊ぼう！貼り絵大会』が長岡体育館で行われました。今年は『行ってみたいな〇〇まつり』をテーマに、各地区の子ども会によるチーム対抗で行われ、14チーム、約150人の子どもたちが参加しました。

子どもたちは、さまざまな種類の色紙を使って下絵に貼り付け、思い描く祭りの楽しさが伝わってくるような、夢ある作品を完成させていました。



あいさつが飛び交うまちを目指して

11月1日 『早朝あいさつ・声掛け運動』を実施

内閣府が定める『子ども・若者育成支援強調月間』に合わせ、登園・登校する園児・児童・生徒を対象に、早朝あいさつ・声掛け運動を行いました。

伊豆の国市青少年育成会と市教育委員会が主催するこの運動は、「地域の子どもは地域で育てる」を合言葉に毎年7月と11月の2回実施しています。

今回は区やPTA、市職員など約1500人が参加しました。

